

■ 主な研究背景

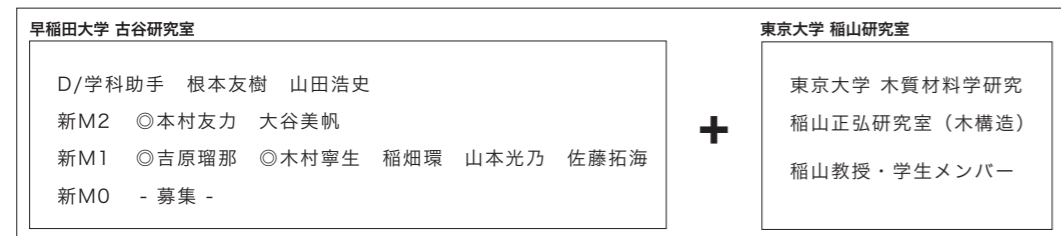
近年の環境問題に対する建築分野の取り組みとしてCO2削減やパッシブな手法での環境配慮が行われているが、その1つとして木を使った建築の需要が増加している。木を使うことで、社会全体としては森林の適正な維持管理へ繋がることやCO2の固定化等による循環型社会形成に貢献出来る。建物単体としても材としての特徴である調湿効果や温かみ、心地よさ等により、建物の内部環境の向上に寄与し、利用者にとって快適な空間を作り出す。2010年に施行された公共建築物木材利用促進法によりこれからますます木造・木質建築の需要は高まると考えられる。

■ 木質ゼミの研究

古谷研究室には、上記の社会背景を受け、木材を用いた建築空間・構造の可能性を広げることを目指し、早稲田大学古谷研究室・東京大学稲山研究室とで共同研究を行っている「木質研究会」というものがある。2007年に発足して以来、様々なモデルタイプ研究を行うとともに、プロポーザル等によって新しい木造・木質建築提案を実社会へと展開させている。

木質ゼミでは、その「木質研究会」と連動しながら、木を使った建築について意匠的な要素だけでなく、構造、材料、法規等を含め、多角的な視点で横断的な研究を行っている。また近年は、建築の木造・木質化の推進を阻み得る要素を法規や利用者、設計者、といった多方面からアプローチすることにより詳細に調査し、木造・木質化を図る上でのガイドラインを作ることを研究の軸に据えている。

木質ゼミ/木質研究会の構成



■ 既往論文

□卒業論文

- | | | | |
|--------|-------|---|--|
| 2016年度 | 吉原瑠那 | ： | 木質空間研究 - 内装の木質度・性質と印象評価の相関 - |
| 2014年度 | 北川萌奈美 | ： | 木造木質空間研究 - 現代木造建築における架構の空間構成要素と印象評価の相関 - |
| 2012年度 | 畠山秀徳 | ： | 地域木質公共研究 - 各都道府県における木質公共建築への取り組みと効果の関係 - |
| 2011年度 | 進藤正人 | ： | 木造設計研究 - 計画要素及び問題点における相関と相違 - |
| 2010年度 | 根本友樹 | ： | 学校木造・木質化研究 - 制度・手法・空間性の横断的評価視点の導入 - |
| 2007年度 | 小森陽子 | ： | 木質系大架構空間におけるディテールが空間全体に及ぼす意匠的影響の研究 |
| 2007年度 | 梶田知典 | ： | 八幡浜市立日土小学校：身体空間による全体の構成について |

□建築学会デザイン提案

- 2009年度： ルナホールの劇場木質化改修案
- 2009年度： 学校校舎の木質構造化に関する提案：その6：山鹿小学校、鹿北小学校の計画案を通して
- 2009年度： 学校校舎の木質構造化に関する提案：その5：(仮称)鹿北小学校の計画案を通して
- 2009年度： 学校校舎の木質構造化に関する提案：その4：山鹿小学校の計画案を通して
- 2008年度： 学校校舎の木質構造化に関する提案：その3：木質+RC混構造タイプの提案
- 2007年度： 学校校舎の木質構造化に関する提案：その2：構法プロトタイプの提案
- 2007年度： 学校校舎の木質構造化に関する研究：その1：モデルプランの検討
- 2007年度： 木質構造の新たな可能性に関する提案：(仮称)本田宗一郎記念ものづくり伝承施設計画の事例を通して



■ 近年の木質ゼミ/木質研究会の活動

【木質ゼミ】

- ・全国の法規、都道府県の制度、木造木質学校の施主である教育委員会、設計者である建築家、利用者である児童教職員、実際の建築空間といったマクロからミクロまでを横断的に研究。(2010)
- ・木質建築設計の際の計画要素および問題点の相関関係を明らかにし、設計手法の整理と問題解決の手法を研究。(2011)
- ・各都道府県における木質公共建築への取り組みを調査し、その効果と問題点の関係性を明らかにした。(2012)
- ・現代の多様化した木造空間を対象に、木造空間を構造・材・接合部といった構成要素ごとに類型化・整理を行い、傾向を明らかにした上で、空間の視覚的な要素、人に与える印象までを横断的に調査し、その相関を明らかにした。(2014)
- ・内装が木質化されている空間を対象に空間の木質度・性質を調査した上で、使い手の印象評価を行い、相関を明らかにした。(2014)

【木質研究会】

古谷研のプロジェクト「木質研究会」でゼミの研究成果を元にコンペティションに参加。
 2010年の熊本県鹿北小学校プロポーザルは最優秀賞となり今年竣工予定。
 2011年の新山口駅前広場施設プロポーザルでは優秀賞受賞。
 2012年、村岡小学校及び幼稚園プロポーザルに参加。
 2015年では、稲山研究室と合同で「木を知り・木を使い・木を活かす Vol.2」展を行い、今までの活動の展示発表を行った。
 また、三保の松原ビジターセンターのプロポーザルに参加し次点となった。
 昨年2016年には、オリンピック選手村ビレッジプラザの提案などを行った。

■ 木質ゼミ年間スケジュール



- ・1～2週に一度の頻度で木質ゼミを行う。
 卒論生は用意したレジュメを元に発表し、M1以上がクリティークをしながら論文の方向性を探っていく。
- ・月に一度の卒論ゼミでは、全ゼミの卒論生がレジュメを元に1ヶ月の研究成果を古谷さん他、研究室全員の前で発表し、全体でクリティークを行う。
- ・2ヶ月に1回程、木質研究会の全体ミーティングにての指導も受ける。(不定期)

■ 連絡先

- | | |
|------------|--------------------------------|
| D/ 助手 根本友樹 | Tel : 080-5088-1716 |
| | Mail : y.nemoto@aoni.waseda.jp |
| 新 M1 吉原瑠那 | Mail : 111u1n1a1@gmail.com |